

会 議 名	平成 27 年度 第 4 回港区 3 R 推進行動会議
開 催 日 時	平成 28 年 3 月 17 (木) 午前 10 時から 12 時まで
開 催 場 所	エコプラザ 会議室 B
委 員	(出席者) 鬼沢座長、中里委員、木原委員、関根委員、山田委員、大駒委員、 岩政委員、小沼委員、太田委員、上嶋氏 (有賀委員代理) 荒川委員  (欠席者) 森委員、櫻林委員、島村委員、有賀委員、関本委員
事 務 局	福田係長、杉山、高島、藤野、秋元
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1. 報告事項 (1) リユース♡ブリッジ (子ども服と本の交換会) 開催報告 (詳細版) (2) 備蓄食糧の上手な活用術紹介セミナー 開催報告 (3) 「みんなと 3 R フォーラム」 開催報告 (4) 「みんなと 3 R」 ホームページ閲覧状況と SNS 更新回数 (5) 平成 28 年度の新規事業について 2. 意見交換 (1) 平成 27 年度の振り返り及び平成 28 年度の 3 R 推進事業 の進め方について 3. その他 (1) 平成 28 年度の予定について
配 布 資 料	[事前資料] なし [席上配付] 資料 1 リユース♡ブリッジ 開催報告 (詳細版) 資料 2 備蓄食糧の上手な活用術紹介セミナー 開催報告 資料 3 「みんなと 3 R フォーラム」 開催報告 資料 4 「みんなと 3 R」 ホームページ閲覧状況と SNS 更新回数 資料 5 平成 27 年度の振り返り及び平成 28 年度の 3 R 推進事業 の進め方について 資料 6-1 平成 28 年度の予定について 資料 6-2 平成 28 年度のスケジュール (予定) <参考資料> ・読みツナグ～お話と本の交換会～ チラシ ・備蓄食糧の上手な活用術紹介セミナー チラシ ・「みんなと 3 R フォーラム」 チラシ

## 主な発言内容・報告内容

### 1 港区挨拶

平成 27 年 4 月に、鬼沢座長の新体制のもとで港区 3R 推進行動会議を開催し、1 年間活動することができた。皆さまに、改めて感謝をしたい。平成 27 年度は、新規事業がいくつかあった。古着の拠点回収を、5 月から 9 か所で開始し、2 月末で、38 トンを回収した。区民のニーズがあったと考えている。

また古着については、12 月に、リユースのブリッジ（子供服と本の交換会）を行い、大変、好評をいただいた。

港区では、人口が毎年増加している中で、可燃ごみ、不燃ごみについては、減少傾向にあり、資源化率は高くなってきている。

その一方で、粗大ごみは増加傾向にあり、家具類が多く上位を占めるため、平成 28 年より家具類を建築建材に再利用する取組みを行う。金属等を取り除いた家具類を細かく裁断し、フローリングの下地として使用するほか、壁の裏側にあるパーティクルボードなどの素材にリサイクルする。

また、港区ごみ分別アプリ（仮称）を、平成 28 年度内にリリース予定である。区民が、ごみの分別について簡単にわかるよう、そして、3R を身近なところで考えていただくことを目的に実施する。

港区議会平成 28 年第 1 回の定例会で、いくつかの指摘があった。

3R 推進行動会議は、良いことをやっているのに、区民にあまり認知されていない。もっと効果的に、PR をするようにとのことであった。また、区民が一生懸命にやっているごみ分別の結果が、見えるようにしてほしいとの要望をいただいております、対応していく。

その他に、食品ロスについて、もっと積極的に取り組むようにとの意見が出ている。

本年度、家庭からのごみについて組成調査を行った。家庭系ごみの 3.3% が封を切っていない食品であった。単純に可燃ごみの量に当てると、年間に家庭から 792 トンが封を切らずに食品が捨てられていた計算になる。

来年度以降、食品ロスについても、3R 推進行動会議の中で意見をいただきたい。

### 2 報告事項

#### (1) リユースのブリッジ（子ども服と本の交換会）開催報告（詳細版）

##### ●事務局からの説明

第 2 回企画会議でもある程度報告したため、今回はアンケートを中心に報告する。

参加者は、予約の時点では 100 名を超え、1 部では 33 組 88 名の方が参加される予定であった。実際には、親子 3 名で参加予定の方が都合で 1 名の参加となる等、当日の参加者は事前予約の第 1 部では 25 組 36 名、当日の参加も加えた第 2 部では、23 組 43 名であった。

アンケート結果によると、第1部、第2部とも、8割以上の参加者が「良い」と回答され、満足度の高いイベントとなったと考える。また参加者の多くが「次回も参加したい」と回答され、ニーズの高さも感じられた。

また、2月27日には、リユースのブリッジの情報を伝えた区民団体が子どもと本の交換会を開催した。

今後積極的に、区民団体にも情報やノウハウを提供しながら進めていきたいと考えている。

#### ●主な発言

・休憩時間の使い方について、大勢の方が集まっていたので、たとえ10分であっても3RをPRするような映像等を流せたら良かったと思う。(委員)

・映像を流すのは、良いアイデアと思う。他のイベント写真を自動で流す程度で良いと思う。3Rを知っていただく、よい機会になったと思う。(座長)

・参加しなかったのに、定員に達したため参加できなかった人がいたとしたら、非常に残念なことだとは思う。何か工夫ができないものかと率直に感じた。(委員)

→事前予約が必要な第1部に参加できなかった方にも、誰でも参加できる第2部を案内していた。(事務局)

・第1部で、服の取り合いにはならなかったのか。(座長)

→ファーストチョイスで第1希望の服を手にとってもらい、欲しいものが重なったときは、じゃんけんで決めるようにしていたため、取合いにはならなかった。(事務局)

・参加の申し込みが多数あったのに、当日のキャンセルで参加者が減ってしまったことは惜しいと思う。当日キャンセルを見込んで、人数を多くとることは難しいのか。(座長)

→今回、実際にやってみておおよそ見当がついたので、次回に活かしたいと思う。(事務局)

・定員に達し参加できなかった人には、1週間前に事務局へ問い合わせるよう案内するのも良い。(委員)

・待ち時間をもう少し短くしてほしいとの意見には、今後どのように対処するのか。(委員)

→10時半に集合して、スタートは11時20分ごろとなった。服の持ち込み枚数に応じたメッセージカードへの記入等もあり、10時20分ごろに会場入りした人は、約1時間も待たなくてはいけなかった。

当日思うほど混雑はしていなかったと感じているが、今回の経験から、待ち時間を短くするよう努める。(事務局)

・参加人数を増やすのであれば、受付などスタッフを増員する必要もある。当会議の委員もスタッフとして従事することも可能である。(委員)

・余った服は、廃棄されるのか。(委員)

→次回の交換会に出すために保管している。また、服がなるべく余らないように、細かく対象を分けて実施することも検討していく。最終的には、服を廃棄するのではなく、古着等をリユースしている事業者へ売却し、国内または海外で再利用してもらう。(事務局)

- ・せっかく服を持ってきたのに、手に取ってもらえないとなると悲しいことである。児童養護施設等の洋服に困っている方や家庭に届くと良いと思う。（委員）
- ・社会福祉協議会等に相談するのも良いと思う。（座長）

## （２） 備蓄食糧の上手な活用術紹介セミナー 開催報告

### ●事務局からの説明

区内事業者の3R推進を図るために平成20年度から事業者向けセミナーを開催してきた。平成23年に発生した東日本大震災から5年目を向かえ、備蓄食糧を入れ替える期限が迫っており、備蓄している事業者・団体にとっては喫緊の課題である。

本年度は、事業者の他に区内町会・自治会に案内した結果、28社33名が参加した。

第1部では、ローリングストック法等の具体的に実施できる方法について学んだ。第2部では、今回初めて試食を取り入れ、備蓄食糧の選ぶコツや、美味しさを実感していただいた。

参加された多くの事業者・団体が、備蓄食糧の処理方法や活用方法について困っていることがアンケート結果により分かった。また、約9割の参加者が参考になったという意見があり、満足度の高さがうかがえた。防災食糧の試食も大変好評であった。

### ●主な発言

- ・募集定員は何名か。（座長）  
→50名を募集した。（事務局）
- ・防災食糧は、火を全く使わないで食べられるものか。（座長）  
→おにぎりについては、当日にお湯をいれて食べた。お湯だと10分程度、水だと1時間程度で食べられるものであった。今回は保健所の許可を得て、試食が可能となった。（事務局）
- ・防災食糧の味は、本当に良くなった。（委員）
- ・試食があるということは、魅力のあることだし、参加する人が増えるのではないか。この試みは途切れることなく実施してほしい。（座長）
- ・防災食糧メーカーの協力を得て実施できると良いと思う。（委員）  
→今回は、防災安全協会の協力をいただき、実施することができた。また、防災食糧の活用方法についてのお話をいただいた。（事務局）

## （３） 「みんなと3Rフォーラム」 開催報告

### ●事務局からの説明

港区3R推進行動会議では、1年間の活動の集大成として、区内の各団体や大学生等と協力し3R推進を図るためのイベント「みんなと3Rフォーラム」を開催した。本年度は、「すぐできるエコがある！イベントいっぱい4日間」というコンセプトで実施した。

2月25日（木）～28日（日）にパネル展示会を実施した。今回のパネル展示会では、新規で3団体参加した。

2月27日(土)10:30~12:00に区民向け講習会「整理収納セミナー」を開催し、当日は27名参加した。港区在住の整理収納アドバイザー 野村高子氏を講師に招き、整理収納術の紹介を通じて、二重買いを防ぐリデュースや使わないものはリユースして循環させることの大切さを説明した。

また、同日13:00~15:00に区民向けイベント「お買い物ゲーム」をエコプラザと共催で開催し、5組11名参加した。講師はくらし設計塾のファイナンシャルプランナー金子千春氏で、参加した親子が、子どもと大人のグループにそれぞれ分かれて、買い物を実演しながら、容器等の処分にどれだけのお金がかかることや、ごみを減らす工夫について学んだ。

アンケート結果より、どのイベントも参加者の満足度が高かったことがわかった。

### ●主な発言

- ・「整理収納セミナー」に参加された木原委員に質問だが、セミナーの様子はいかがだったか。(座長)

→内容は、親しみやすく、すごく良かったと感じた。講師を招くにあたって、参加者が少ないと申し訳なく思う。麻布清掃協力会から何名か参加したが、実際に参加される方が少なかった。参加者を増やす工夫が必要と感じた。(委員)

- ・野村講師の話は、いかがだったか(座長)

→私達の年代の方は、講師がお話しされたようなことは知っていたが、若い世代の人たちには、良かったと思う。セミナーで学んだことを、若い世代の人たちに伝えるという意味では、役に立ったと思う。(委員)

・3Rフォーラムの最終日に、パネルを見に行ったら、家族連れが来てくれるような工夫が欲しかったと思う。また、エコプラザの開館時間が17時までだと思ったので、急いで見に行ったら、実際は20時まで開館していたので、開館時間の周知も必要と感じた。

・「参加者の年齢等はわかりますか」「講習会を何で知りましたか」という問いに、ホームページで知ったという方が いないというのが不思議である。ホームページで見せる工夫が必要だと思う。(委員)

→整理収納セミナーでは、比較的高齢者が多かったと思う。お買い物ゲームは、子ども向けということもあり、若い世代の人が多かったように思う。

ホームページのお知らせにみんなと3Rフォーラムの開催は告知していた。ただし、タイトルが「みんなと3Rフォーラムの開催」と記載しており、イベント内容が分かりにくかった。(事務局)

・最初に見る表題「みんなと3Rフォーラム」に興味があれば、見ないと思う。わかりやすい、親しみやすい名前にする必要がある。(委員)

→3Rフォーラムのタイトルではなく、イベントの内容を目立たせる必要があったと思う。(事務局)

・エコプラザの講座には、楽しげな名前が付いているものが多く、子どもが興味を引くようなものが多い。エコプラザのメールマガジンに、3Rのイベントを広告してもらうことは可能か。(委員)

→エコプラザと相談をする。(事務局)

- ・3Rフォーラムの「フォーラム」は、公開討論会という意味であり、硬い感じがする。ネーミングが変更できないのであれば、副題を目立たせるようにするのが良いと思う。ネーミングで専門性の高い内容であり、難しそうと思われる。子どもたちには、真面目そうなネーミングは避けられてしまうので、子どもが楽しくなるようなネーミングにすべきである。（委員）
  - ・キャッチフレーズを表に出して、親子で呼び込めるようなものが良いと思う。（委員）
  - ・エコプラザとタイアップできると良いと思う。（座長）
- 今回、お買い物ゲームについては、エコプラザとの共催であった。タイトルは子どもが楽しめるようなネーミングを付けるよう検討する。（事務局）

#### （４）「みんなと3R」ホームページ閲覧状況とSNS更新回数

##### ●事務局からの説明

第2回企画会議では、12月までを報告している。今回は1月、2月についてご報告させていただく。

1月のホームページの閲覧数は292名、ブログ、フェイスブックの更新数は、0回。2月のホームページの閲覧数は35名とイベントの狭間で少なくなっている。ブログの更新は1回、ツイッタ－の更新は3回、フェイスブックの更新は5回となっている。

##### ●主な発言

- ・2月のホームページ閲覧数が少なかった原因として、1月から2月の末まで、イベントが開催されていなかったことと、継続的にホームページを見る人が少ないのが原因と思っている。（事務局）
- ・更新したら閲覧者が増えるという相関関係もないようである。定期的に手軽にできるツイッタ－等を更新するしかないと思う。ツイッタ－のフォロー数を増やすことによって、広がると思う。地道にやるしかないと思う。（委員）
- ・ホームページを開設した当初は、閲覧者が少なかった。今年度は、格段に増えている。報告書には、SNSのフォロー数を載せていただくのが良いと思う。フォロー数をどう増やすのかが今後の課題になると思う。更新回数も、今の倍以上にするべきである。1000名程度の閲覧者に増やすには、時間がかからない。（委員）

#### （５）平成28年度の新規事業について

##### ●事務局からの説明

平成28年度の新規事業について、口頭で報告する。主管課との協議結果をご報告させていただく。第3回3R推進行動会議で報告した1つ目の3R低炭素化社会検定取得のための連続講座、2つ目の5地区同時に開催のパネル展示会、3つ目のみなと3Rフォーラムにおいて、講師講演のための報償費の拡充については、増額は見送られた。

来年度の3R推進行動会議では、3R推進行動計画の見直しがある。

また、みなとリサイクル清掃事務所で、ごみ分別アプリの導入と割りばしのリサイクルを試行す

ることになった。

●主な発言

- ・特になし。

### 3 意見交換会

#### (1) 平成 27 年度の振り返り及び平成 28 年度の 3 R 推進事業の進め方について

●事務局からの説明

港区 3 R 推進行動計画の 6 つの行動プランごとに、今年度の取り組みを振り返り、課題を検証したうえで、平成 28 年度の 3 R 推進事業（案）を説明した。

- ① 3 R に関する普及啓発・情報提供について
- ② 施設見学会の実施
- ③ 事業者向けセミナー・イベントの開催
- ④ イベントやキャンペーンを利用した 3 R 推進
- ⑤ 3 R 推進事業におけるごみ発生抑制への普及啓発等の担い手を育成
- ⑥ 家庭での生ごみの水切り・堆肥化の促進

●主な発言

・広報媒体の活用で、集客を高めることが示されている。具体的にどうするかは、28 年度に決めていきたいと思う。今までやっていないことをしないと、伝わらないと思う。（座長）

・麻布清掃協力会と赤坂青山清掃協力会合同の清掃施設のバス見学会があった。バス 2 台で 60 名ほどが参加した。現地までの移動中、3 R のビデオを放映した。移動時間も活用することができたので、とても好評だった。バス見学会やイベントに来られない人のために、3 R のイベント等をビデオで撮って放映すると良いと思う。イベント等でも放映すれば、3 R について知る機会が増えると思う。（委員）

・とても良い意見だと思う。バス見学会に参加した効果を図る仕掛けとしては、良い取り組みである。

また、事業者向けセミナーに参加された方が、実際に実行しているかは、アンケート等で確認をする必要があると思う。実行していただける次の仕掛けも必要だと思う。（座長）

・①について、親子や、若い方にきていただきたい場合は、フェイスブックやブログの方が効果的だと思う。フェイスブックでは、「いいね」というフォローができる。イベントや、講習会に出た人に「いいね」をつけてもらう。

映像を一瞬でもながせると効果的だと思う。良い情報だとシェア（共有）をしてもらえるので、どんどん広がっていく。いままで蓄積された情報を発信することも良い。

②の施設見学については、私の周りでは、土日だったら行けたのにとという人がいた。働いている人や、子どものいる家庭では、平日の参加は難しいようである。親子や、若い世代の人が参加できるような日程を考える必要がある。（委員）

- ・④、⑤について、区内から講師を選任されることは良いことだと思う。（座長）
- 段ボールコンポスト講習会も区内在住の方が講師やサポーターを務めており、全員最初は講習会の受講者だった。。この例を、他のイベントも参考にしたい。（事務局）
- ・リユース <sup>ハートハート</sup>♡♡ブリッジが好評だったことから、本年度の反省も踏まえて、28年度はより改善していけると思う。（座長）
- ・現実にごみを大量に排出するのは、一般家庭ではなく事業者だと思う。事業者向けにセミナーをもっと行う必要がある。  
また、20万人集まるみなと区民まつりや、港区内に約60ある商店会のお祭り等で3RのPRをすることが効果的だと思う。  
（委員）
- ・現在、行っている3Rの講座等では、関心のある方が参加されている。講座等を実施するねらいは、3Rについてまったく興味がない人にアプローチをすることである。商店街をはじめとする区内の各イベントに参加ししていく。（委員）
- ・⑥についてであるが、まだ食べられるのに捨てられている食品ロスについて、もっと大きくPRしたほうがよい。平成28年度は、食品ロスの削減の取組みを、実施していくことが必要だと思う。事業所の食品ロス、排出方法について食品リサイクル法規制されているが、一般家庭から排出される食品ロスについては規制がない。一般家庭から排出される食品ロスが意外に多い。（鬼沢委員）
- ・食品パック等の封を切らないで捨てられてしまう食品は、事業所で可燃ごみの総排出量の0.4%だった。（委員）
- ・賞味期限と消費期限の違いがわからない人が多い。（委員）
- ・スーパーでは、賞味期限と消費期限の違いを、消費者に理解してもらう機会を増やさなければならない。3Rについても、一般家庭に理解してもらう機会を増やさなければならない。（委員）
- ・いきいきプラザとの連携とあるが、子ども中高生プラザとの連携も考えてはどうか。児童館の子どもに伝えることも大事だと思う。  
また、消費者生活展のなかで、フードバンクに送る取組みを2回行ったが、食品が集まらなかった。フードバンクという取組みがあまり認知されていなかった。消費生活展（6月の最後の土日）で、再度取組みたいと思っている。（委員）
- ・フードバンクについては、事業者の担当者も知らない人が多い。実際にフードバンクに取組まれている、セカンドハーベストジャパンの施設を見学できる機会があると良い。（委員）
- ・子どもを対象にすることは良い。子どもたちが理解できると、家庭で話題になり、実践につながっていく。（座長）
- ・子どもたちに食品ロスについて、ちゃんと伝える（教育）べきである。（委員）
- ・エコ料理教室について、一般向けと親子向けを開催したが、一般の方はすでにエコ料理教室を実践している人ばかりだった。（委員）



#### 4 その他

##### 平成 28 年度の予定について

###### ●事務局からの説明

平成 28 年度は、一般廃棄物処理基本計画の中間見直しの結果を踏まえて、3R 推進行動計画の見直しをする。そのため、3R 推進行動会議は、9 回行う予定である。定例の会議が 4 回、推進行動計画見直しのための会議は 11 月から 3 月の間で 5 回の開催を予定している。

また、3R 推進行動会議と、3R 企画会議の線引きがあいまいであったので、3R 企画会議を「3R 部会」と名称の変更をする。内容は、事業者セミナーとみんなと 3R フォーラムの企画内容を検討する座談会を実施する。

区民向け講習会については、年間 5 回を予定している。

一般向け段ボールコンポスト講習会は、参加者が伸び悩んでいるため、いきいきプラザの講座と連携する等、他のイベントに便乗し出前講座として開催する予定である。

事業者セミナーを 2 回、紙ごみ削減や食品ロスセミナー等について、内容等詳細については来年度に決定したいと考えている。

イベントで多くの参加者に啓発する 3R キャンペーンは、みなと区民まつりを含め、年間 5 回実施する予定である。施設見学会は、年間 1 回で秋ごろに実施する予定である。

###### ●主な発言

- ・本格的な内容等詳細については、平成 28 年度に開催するに 3R 推進行動会議の中で、委員の皆さんから意見をいただきながら実施していく。（座長）

#### 5 次回の会議予定日

平成 28 年度第 1 回 3R 推進行動会議 4 月 13 日（水）午前 10～12 時  
エコプラザ会議室 A

以上